



Mother Lake
Goals

変えよう、あなたと私から

MLGsに取り組む佐藤の物語

NPO法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA)

関西大学 3年 佐藤 華蓮

2022年 9月24日

▶IVUSAの紹介

設立 1993年1月（法人格取得 2002年5月）

所属大学 80大学（関西、関東中心）

学生数 約2,500人（2021年3月31日現在）

ミッション「共に生きる社会」の実現、SDGsの達成に貢献

活動実績 累計事業数 約5,300本、延べ参加人数 132,000人（2020年度末）



▶5つの活動分野

①国際協力



②環境保護



③地域活性



④子ども教育支援



⑤災害救援



移動・食事・宿・作業に必要な道具など自分たちで準備する自己完結型ボランティア

▶受賞歴

2006年 防災功労者内閣総理大臣表彰
→災害現場における活動かつ応名救急などの危機対応講習が評価



▶IVUSAに入ったきっかけ

友達に誘われ、新歓イベントの説明会に参加した

大学生が災害現場に駆けつけ、ボランティアセンターの運営補助や住宅のヘドロかき出し、何より、地域に元気を置いてくる姿に感動した



IVUSAのオオバナミズキンバイ除去活動

▶ オオバナとは

- ・南米原産の**特定外来生物**
- ・2009年 琵琶湖で発見



船が動けなくなっている様子 ヨシ帯を覆っている様子



2013年14名の学生から活動がスタート

2013年～2022年

活動回数→約74回

参加者数→約12,000人

(関係者・一般参加者:約3,500人)

総除去量→約400トン



2014年 琵琶湖外来水生植物除去大作戦の様子@草津市 烏丸半島

2021年 オオバナ除去活動参加のきっかけ

▶ 7月守山市芦刈園(初参加)



▶ 11月近江八幡市(2回目/役職:作戦計画・当日指揮)



2021年 近江八幡市ヨシ植栽地



参加者：15人

役職：作戦計画・当日指揮

【実働】

下見をし、除去手順や道具の計画を立て、
当日指揮をした

【感想】

15人でも人をまとめるのは難しく、
オオバナ除去のノウハウを教わりつつ、
効率的な除去方法を考えていた。



IVUSA琵琶湖チームに所属

琵琶湖チームに所属し、滋賀県・京都府での除去活動、広報活動などに携わる

大津市 堅田湖岸



守山市野洲川河口公園



京都府鴨川



2021年10月2日・3日

第13回いい川・いい川づくりワークショップ in 中部



2021年11月10日

世界湖沼会議inメキシコ



琵琶湖外来水生植物除去大作戦 2022 9月9日～11日

草津市北山田町ヨシ植栽地



参加者：約130人 関係者：約20人
協力：滋賀県庁、山田漁業協同組合
成果：約2,000㎡、約30 t 除去

役職：大隊長として、作戦面での指示出し・モチベーターとして参加
感想：色んな個性を活かして協働し、目標達成することを楽しめた

▶2021年6月 MLGs ワークショップの実施



- | | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 1
涙の味を
感じる事に
挑戦しよう | 2
異文化の価値
を取り戻そう | 3
多様な生き物も
守ろう | 4
身近な課題も
楽しく | 5
楽しみながら
本物の事を
学ぼう |
| 6
自然環境の
つなぐ力を
増やそう | 7
ひび割れのためにも
課題発見方法を
増やそう | 8
気候変動や
自然災害に
備えよう | 9
企業・産業に
課題の解決を
促そう | 10
地元も応援も
学びの場にも |
| 11
ひび割れを直し
繋ぐ人々を
増やそう | 12
木に学びながら
新しい暮らしを
実践しよう | 13
学びの場を
自らも実践しよう | | |

【内容】

「琵琶湖のために何かしたい！」という思いを実現するために、学生にできることを考える

【共催】IVUSA、マザーレイクフォーラム運営委員会



3. 企画案

企画の流れ
滋賀県の伐採や間伐により余った木材を活用し、木製卓上収納を作成

↓

完成した卓上収納を公民館などの公共施設に送る

↓

市民にリアルな木に触れてもらう

↓

市民の緑への意識を高めてもらう（ゴール）



▶企画実施に向けて

『びわ湖の研究者になろうツアー』を
2022年3月に開催するために計画を進める中で...

自然体験ワークショップに参加

体感型ワークショップ
「体感びわ湖学
マザーレイクゴールズ
special」



ビワマス観察会



びわ湖の生きた
プランクトン観察会(秋)



▶企画実施に向けて

連載記事企画 MLGs WEBニュース



MLGsニュース

大学生の成長日記～『びわ湖の研究者になろうツアー』への道～第1弾（マザーレイクニュース）

🕒 2021年11月8日 / 🕒 2021年11月30日



NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)に所属している、佐藤華蓮(関西大学)と小島侑也(同志社大学)です。

私たちは今、琵琶湖版のSDGsである「マザーレイクゴールズMLGs)」の達成を目指していま



MLGsニュース

大学生の成長日記～『びわ湖の研究者になろうツアー』への道～第2弾（マザーレイクニュース）

🕒 2021年11月24日 / 🕒 2021年11月30日



NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)に所属している、佐藤華蓮(関西大学)です。

私たちは琵琶湖版のSDGsである「マザーレイクゴールズMLGs)」の達成を目指し、私たちIVUSAの学生が立案した『びわ湖の研究者にな



MLGsニュース

大学生の成長日記～『びわ湖の研究者になろうツアー』への道～第3弾（マザーレイクニュース）

🕒 2021年11月30日



NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)に所属している、学生ライターの小島侑也(同志社大学2年)です。

私たちは琵琶湖版のSDGsである「マザーレイクゴールズMLGs)」の達成を目指し、私たち

手作り浄水場を作ってみよう！

背景

社会問題に対して自分事
として捉えられる環境を
作りたい

内容

オリジナルろ過装置作り、
浄水場オンライン見学会、
考察・発表会、凝集剤実験



▶研究者になろうツアー

家棟川探検隊！水と生き物を調べてみよう！



背景

清らかな水とはどんな
だろう？

内容

家棟川フィールドワーク
(水質測定・生き物と周辺環
境の観察)、発表会

びわ湖の研究者になろうツアー
やな むね がわ
家棟川探検隊！
水と生き物を調べてみよう！

水質調査
&
生き物観察

大きなビワマスが
見られるかも！

家棟川で探検・図書館で発表

日時 : 2022年 10 月 30 日 (日)
10:20~16:40

対象 : 小学生とその保護者(10組)

参加費 : 1人あたり2,500円

※あやめ荘での湖魚フルコースの昼食代含む

主催 : 特定非営利法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)
マザーレイクゴルフ推進委員会・滋賀県

ご清聴ありがとうございました